

平成15年12月12日
日本銀行山形事務所

全国企業短期経済観測調査結果(15年12月)
山形県内分

1. 業況判断 前回9月調査に比べ15%ポイントの大幅改善。もっとも、先行きは再び悪化の予想(9月 31 12月 16 3月 26)。

製造業は、殆どの業種が横這いで推移している中で、電気機械がデジタル関連製品向け電子部品の出荷増等から大幅に改善(9月 20 12月 40 < 14年12月調査以来のプラス >)したため、全体でも前回9月調査に比べ20%ポイントの大幅な改善となった。

先行きについては、電気機械がデジタル関連製品の販売価格下落懸念から、繊維、一般機械が売上減少懸念から悪化を予想しており、全体でも再び悪化する見通しとなっている(9月 27 12月 7 3月 17)。

非製造業は、建設、卸・小売が公共投資の減少や販売不振を映じて悪化したものの、運輸・倉庫、サービスが収益増等から改善したため、全体でも前回9月調査に比べ8%ポイント改善した。

先行きについては、建設が更に悪化を予想しているほか、運輸・倉庫も受注減少懸念から再び悪化を予想しており、全体でも再び悪化する見通しとなっている(9月 38 12月 30 3月 43)。

2. 売上高・経常利益 15年度の売上高は前年度比ほぼ横這いながら、経常利益は前回9月調査に比べ上方修正され増益となる計画(売上+0.7%、経常利益+23.7%)。

製造業は、食料品が冷夏の影響等から小幅の減収減益を予想しているほか、一般機械も農業用機械等の需要減少見込みから減収減益を予想しているものの、電気機械がデジタル関連製品の需要好調から売上・収益とも上

方修正され増収増益を予想。また、輸送用機械も排ガス規制強化関連需要の増加から上方修正され増収増益を予想。このため、全体では小幅増収、大幅増益となる計画（売上+3.7%、経常利益+43.5%）

非製造業は、運輸・倉庫が増収増益を予想しているものの、建設が公共投資減少等から減収減益を予想しているほか、卸・小売も販売不振等から減収減益を予想。このため、全体では減収減益となる計画（売上高 4.6%、経常利益 10.7%）

3. 設備投資 15年度の設備投資額は大幅上方修正となった前回9月調査に比べ更に上方修正され、前年度を6割方上回る計画（+58.9%）

製造業は、電気機械が能力増強投資を更に上積みしたことから、前回9月調査に比べ上方修正され、前年度を7割方上回る計画（+69.4%）

非製造業は、卸・小売、運輸・倉庫が前年度を下回る計画ながら、サービスで一部の先が大口投資を実施したことから、前回9月調査に比べ上方修正され、前年度を2割方上回る計画（+18.3%）

4. 雇用人員判断 3期連続して改善（過剰感後退<「過剰」「不足」の回答社数構成比>）。先行きは横這いの予想（9月 18 12月 14 3月 14）

製造業は、一般機械等で過剰感が後退したため6%ポイント改善。先行きについては電気機械が不足に転じることから引続き改善する予想（9月 18 12月 12 3月 8）

非製造業は、建設で過剰感がやや後退したため3%ポイント改善したが、先行きは再び悪化を予想（9月 21 12月 18 3月 26）

以上